

各種料金値上げはどうしてか

吉田 貞子

〔質問〕①平成23年度からの集中改革プラン改訂版に、市民の意見はどう反映したか
 ②市民から料金を支払ってもらう項目はいくつあり、料金の見直しは何項目で、実施項目は何項目か何う。
 ③2千3百万円の財源確保のために、社会的弱者や福祉をも下位に位置づけたのか何う。
 ④平成22年度から受水料金は値下げされるのに、水道料金はずなぜ値上げするのか伺いたい。

〔答弁〕①11月18日、市民代表からなる行政改革懇談会を実施して、集中改革プラン改訂版について審議を行い、意見を拝聴したところである。委員の方々からは、市の財政状況が厳しくなっていることを危惧する声が出ており、なお一層の行財政改革を求められると感じている。
 ②全項目で67項目になり、公民館関係、コミュニティセンター、学校施設開放関係、市民課、税務課の各種証明等は、それぞれ1項目として集計し、上下水道関係については除いている。
 料金改定をした項目は38項目である。
 ③この改革については、すべてにおいて聖域なき改革を行わなければならないと考えている。
 この中で社会的弱者、子育てに対する部分に配慮していることをご理解いただきたい。
 ④財源的枯渇が考えられるとともに、近隣市町の情勢をかんがみ、総合的に判断し、料金の改定について提案したと

多胎妊婦健診の助成回数拡大について

菅野 恭子

〔質問〕近年、2児以上を妊娠する多胎の頻度が高くなっている。妊娠高血圧症候群や早産のリスクも多く、周産児死亡率は単胎の平均約4倍ともいわれ十分な産科管理が必要であり健診回数も単胎の倍近くを要し経済的負担も大きい。現在本市妊婦健診無料は14回であるが、高い諸リスク

から母子の生命、健康を守るために多胎妊婦健診の助成回数を増加すべきと考えるが見解を伺う。
 【その他の質問】
 ○第一幼稚園の3歳児クラスを増設すべきではないか。
 ○歩道及び歩道環境の総点検と整備推進をすべきではないか。
 〔答弁〕多胎妊婦については通常、妊娠初期の4週間に1回の健診を少なくとも2週間に1回行うことが必要とされており、40週を待たずに出産となる場合も多いことから、1人の妊娠に比べると1.5倍程度健診回数が多くなるのが現状である。
 このことから、多胎による妊婦への経済的負担の軽減や安全、安心な出産に必要な受診がしやすい体制を整備するため、今後、多胎妊娠への助

成回数の拡充については、医師・専門的な知識を有する方とも話し合いをしながら前向きに検討してまいりたい。

ころである。
 また、ほかの手数料についても、審議会等でご意見をいただき、市民の代表である議員の皆様方にご提示申し上げたところである。

